

感染性胃腸炎（ノロウイルス）の感染予防について

ノロウイルスは、感染性胃腸炎の主な原因の一つで、患者の便や吐物などには、ウイルスが存在します。感染原因としては、患者便、吐物及びそれに汚染された手指からの二次感染があります。下記の対策を参考にして、感染予防に心がけてください。

手指

石鹸を使い十分にこすり洗いをし、水で洗い流す。手洗い後の手拭い用タオルは共有せず、ペーパータオル等を使うか、個人用タオルを利用する。

食器・調理器具

洗浄後に熱湯消毒（85℃以上・1分以上）又は塩素消毒（0.02%（200mg/L）・10分間以上浸漬）する。

便座・便器

便座：塩素消毒（0.02%（200mg/L））し消毒後に水で拭き取る。

便器：塩素消毒（0.5%（5000mg/L））する。

吐物や便で汚染された箇所（壁、床、ドアノブ等）

汚物に対して塩素消毒（0.5%（5000mg/L）・5分間以上浸漬）した後に汚物を拭き取る。その後汚染箇所を塩素消毒（0.1%（1000mg/L））：消毒後に水で拭き取る。

畳・ジュタン等吸水性のものは水拭き後アイロンで加熱消毒する。

患者が手を触れた箇所（手洗いの蛇口、手すり、ドアノブ等）および浴槽内

塩素消毒（0.02%（200mg/L））：消毒後に水で拭き取る。

リネン・下着

汚物を十分に落とした後、熱湯消毒（85℃以上・1分以上）又は塩素消毒（0.02%（200mg/L）・10分間以上浸漬）：消毒後に他のものと分けて最後に洗濯する。

次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方

0.02%次亜塩素酸ナトリウム希釈液

原液の濃度	原液の量	水の量
6%	10mL	3L
10%	6mL	3L
12%	5mL	3L

0.1%次亜塩素酸ナトリウム希釈液

原液の濃度	原液の量	水の量
6%	50mL	3L
10%	30mL	3L
12%	25mL	3L

0.5%次亜塩素酸ナトリウム希釈液

原液の濃度	原液の量	水の量
6%	250mL	3L
10%	150mL	3L
12%	125mL	3L

次亜塩素酸ナトリウムを使用する上での注意事項

- ・皮膚に対する刺激が強いため、手洗いなど人に対しては使用しない。
- ・使用するときには、窓を開ける等十分に換気を行う。
- ・金属等腐食の可能性があるものに使用の場合は、使用後に水拭きをする。
- ・材質によっては変色する場合があるので注意する。